

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第31週（令和4年8月1日～令和4年8月7日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- ・今週は梅毒の報告が8件ありました。第31週までの累積報告数は294件で昨年の同時期（186件・速報値）の約1.6倍多い状況です。梅毒は、主に性的接触によって感染し、感染初期には陰部のしこりや股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節の腫れ等が出ますが、痛みがないことも多く、症状は自然に軽快します。しかし、症状が軽快している間も、体内に病原体が残っており、数か月後には全身に症状が現れるようになります。本人とパートナーを守るために、避妊具（コンドーム等）の正しい利用や、適切な検査・治療を受けることが大切です。詳しくは、福岡県HP「【注意！】梅毒の感染者が例年に比べてとても増えています（症例写真を掲載しています）」を

（<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/baidoku2018.html>）ご覧ください。

- ・福岡県感染症情報ホームページ（[http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)）では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。


## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	12	436	215	8,409
腸管出血性大腸菌感染症	2	98	145	1,446
レジオネラ症	3	32	59	1,069
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	18	8	433
侵襲性肺炎球菌感染症	1	38	10	711
梅毒	8	294	191	6,716

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

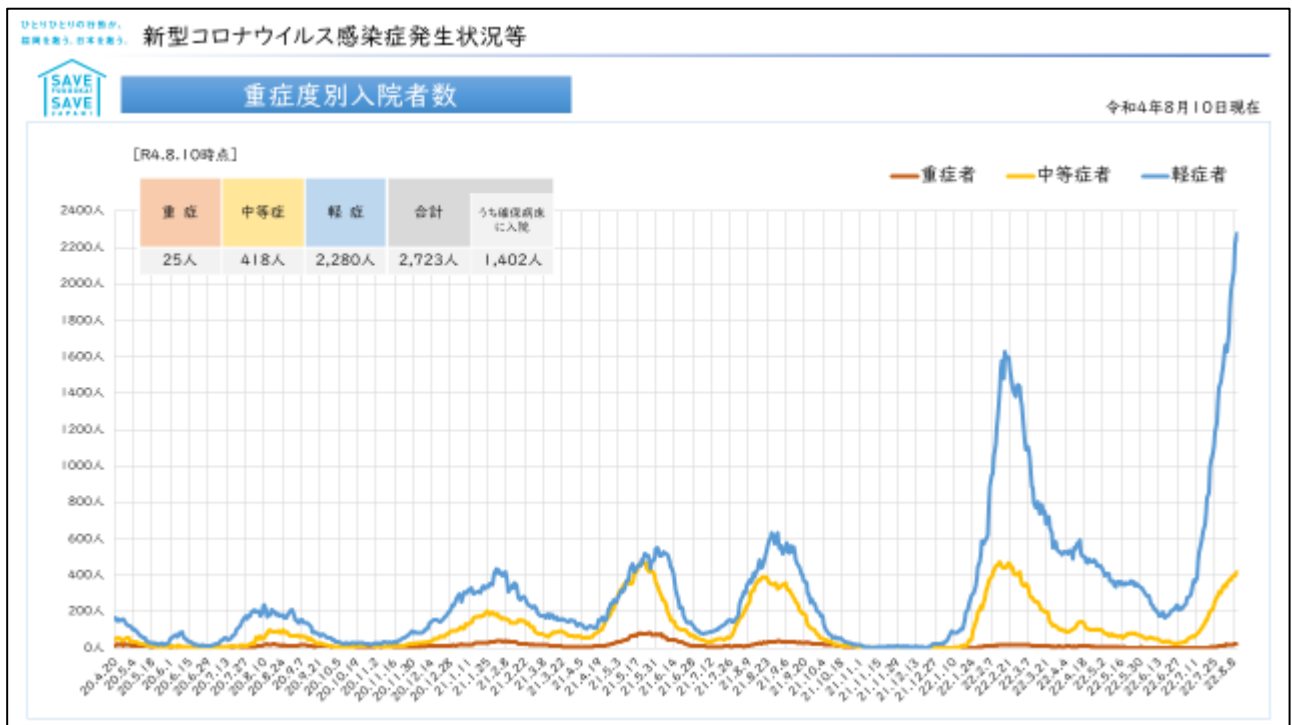
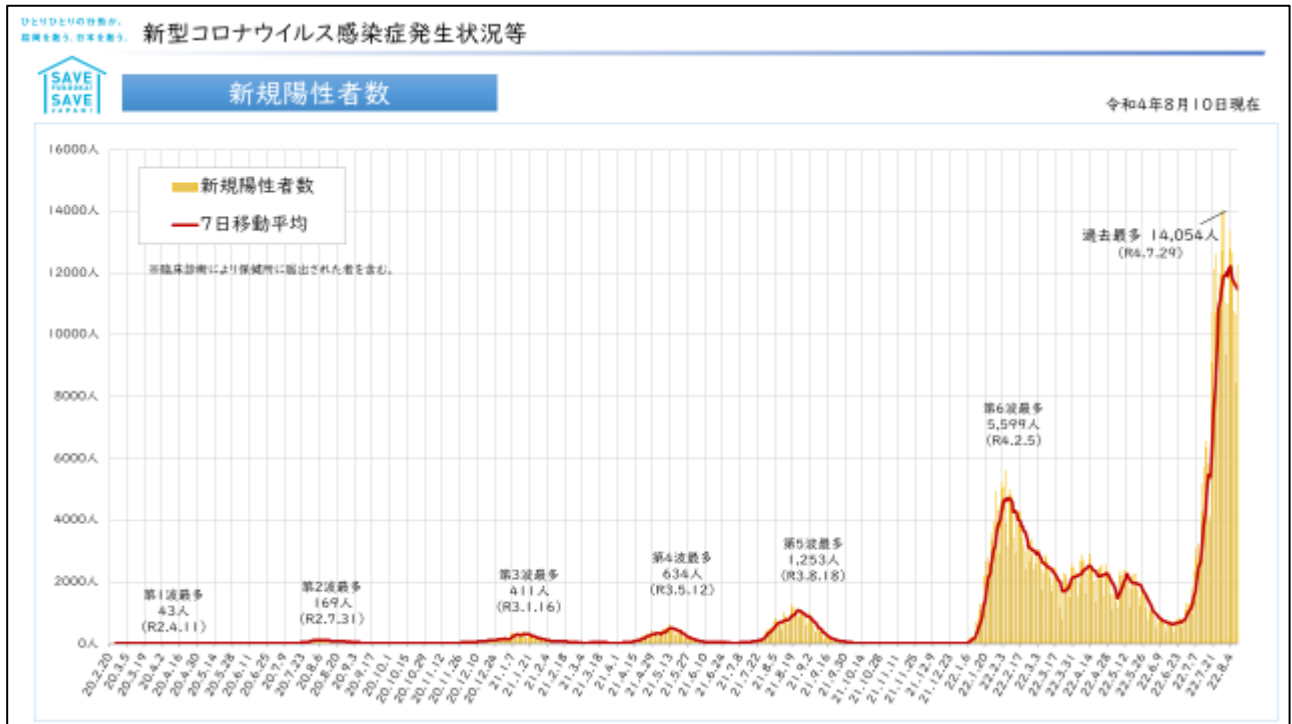
## ■ 定点把握疾患報告数

 : 警報レベル

 : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	8	0.04	2.00	142	0.03
RSウイルス感染症	349	2.91	1.47	7,342	2.35
咽頭結膜熱	16	0.13	0.53	538	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	86	0.72	1.00	879	0.28
感染性胃腸炎	467	3.89	0.91	8,544	2.73
水痘	6	0.05	0.86	207	0.07
手足口病	60	0.50	0.85	9,422	3.01
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	60	0.02
突発性発しん	51	0.43	0.98	876	0.28
ヘルパンギーナ	34	0.28	1.26	2,355	0.75
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.50	78	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	3	0.00
流行性角結膜炎	2	0.08	0.40	155	0.22
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	4	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	12	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	7	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	-	-

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>